

ほろけん

③③ ちんつう剤



大崎短歌会

兼題『枯れ野・自由』

百二歳すこやかに在り銀杯に
 なみなみと受く名酒「萬寿」を
 雪もよひの庭に黄色き菜花摘む
 謡曲「二人静」を小さく謡ひつ
 冬枯れの横瀬の浜の夕風に
 音添えて打つ沖の白波
 山眠る空の雲厚く風凍みし
 田畑は枯野花の春待つ
 三箇所に火は放たれて枯野這う
 野焼きの炎十人で追う
 暁にひろがる霜の静謐や
 望み託さん木々の芽吹きに

井元かず子
 山下海征
 川崎健一
 実吉安仁
 上南紀子
 穂園芳江

薩摩郷句

兼題『選つ』

寒々と枯れ野に光る朝露に
 術後の孫の幸多かれと
 赤鬼や黒鬼笑ふ膳しつらへ
 良し悪し平らぐ豆撒きの宵
 さらさらと川は流れる穏やかに
 今日も生きよう流れの如く

坂元つる子
 馬場みさ
 戸山重子

選つたチョコ 勿体無なつたち 我がで食つ
 (唱) チロルチョコでん 後かい渡そ
 西ノ園ひらり
 職探し 選んだ所い 良か男
 (唱) 渡りに船ち 永久就職
 満石うらら

婿選つ 親父じ良う似た 醜青年殿
 (唱) こんな性質の顔 間違えあ無かる
 佐藤ばっけちゃん
 顔よっか 心根ん良か娘を 選つ貰つ
 (唱) 優し嫁女ち 親も満足
 上窪小絵
 大て見事ち 西瓜を選つたち 中は空洞
 (唱) 叩けば空洞か 解い筈じゃが
 二見愚楽満
 選いに選つ 決めた亭主は 外れ籤
 (唱) 相手もそげん 思もちよいかもよ
 諸木小春
 喧嘩腰し 選つた赤札 三流品
 (唱) 掴ん合つ買つ 金打捨じゃつ
 上村牛歩
 選つ態で あせくいたくい バーゲン屋
 (唱) 金な持たんで 漁くいたくつ
 藤元鬼瓦
 婿選び 月給が高けち 欲な娘
 (唱) 一生ん事ちな 大事な条件
 北村虎王
 次の世も 貴方様をば 選つてな
 (唱) 来世も一緒に 暮らし申そ言つ
 長重リリー
 頼んじよつ 当選つもろたとい 知たん真似
 (唱) 一人でなつたち 思もちよつとじやろ
 遠矢耐多